

(様式第7号)

令和3年度 地域の課題解決のための活動報告

記入日令和4年6月29日

作成者： 上野義治

地域の課題解決のために行った活動を1つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入ください。

*この報告はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団体名	
一般社団法人 コミュニティ援助センター	
事業名	日時 (期間), 場所
地域カフェ「自分を語る場」	原則毎月第3土曜日 午後3時 芦屋市民センター
内容 (実績) *実施したことを具体的に	受益者数
月次 (毎月第3土曜日) の例会は、「これでいいのか?これから先!」を共通のテーマに、当番の協力メンバーが「自分が身を置く立場」から状況報告、所見を陳述する場として継続を試みてきたが、参加者数の激減など、地域の課題を探りその解決を協働する同士が得られないため、開催の実績を表記する状況にはない	(地域住民の不特定多数) 人
	参加者数 (約3~10) 人
成果 (社会へのインパクト) *どのような良い変化を社会にもたらしたかを具体的に	
住民士業人らが「あらゆる悩み困りゴトの解明」を手伝うワンストップサービス (地域プロボノセンター設立) 構想を目指した社会活動の取り組みも、若手の共感者に継承できる見通しが希薄であること及び体制づくりの困難・脆弱性が明白になって猛省を促されている状態	
今後の展望 (どのように継続、発展するか)	
令和4年6月、本件事業の活動休止を宣明して、法人のコミュニティビジネス化 (コミュニティ支援の公益的な収益事業活動) への方向転換を検討し、身近な諸問題から可能な範囲で実践していく	